

坂

【百反坂】一般に「ひゃくたんざか」と呼ばれていますが、古い人たちは「ひゃくだんざか」と呼んでいます。昔この坂は階段であったため百段と呼ばれていたものが、のちに路面が平坦になり、名称だけが百反となって残ったものといわれています。坂下付近には、かつてはJR線路を横断する踏切がありました。その後、昭和43年頃に現在の百反隧道および百反歩道橋が出来たことにより踏切は閉鎖されました。



【峰原坂】大崎三丁目と四丁目の境界道にあり、立正大学の東側に沿っている。峰原とは江戸時代以前の谷山村時代からのこの辺一帯の地名で、現在の大崎三、四丁目付近にあたり、坂名はこれをとったものです。

